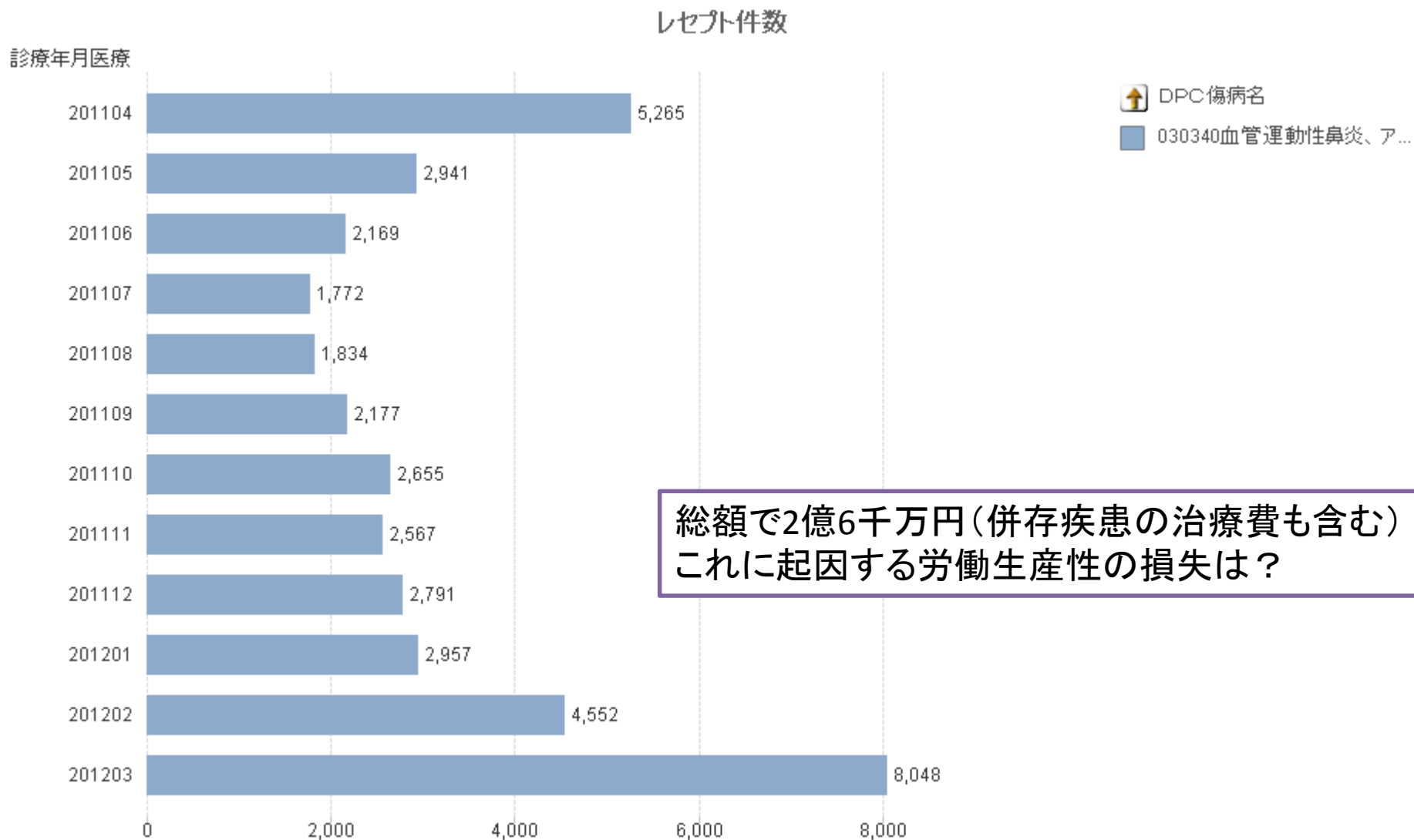
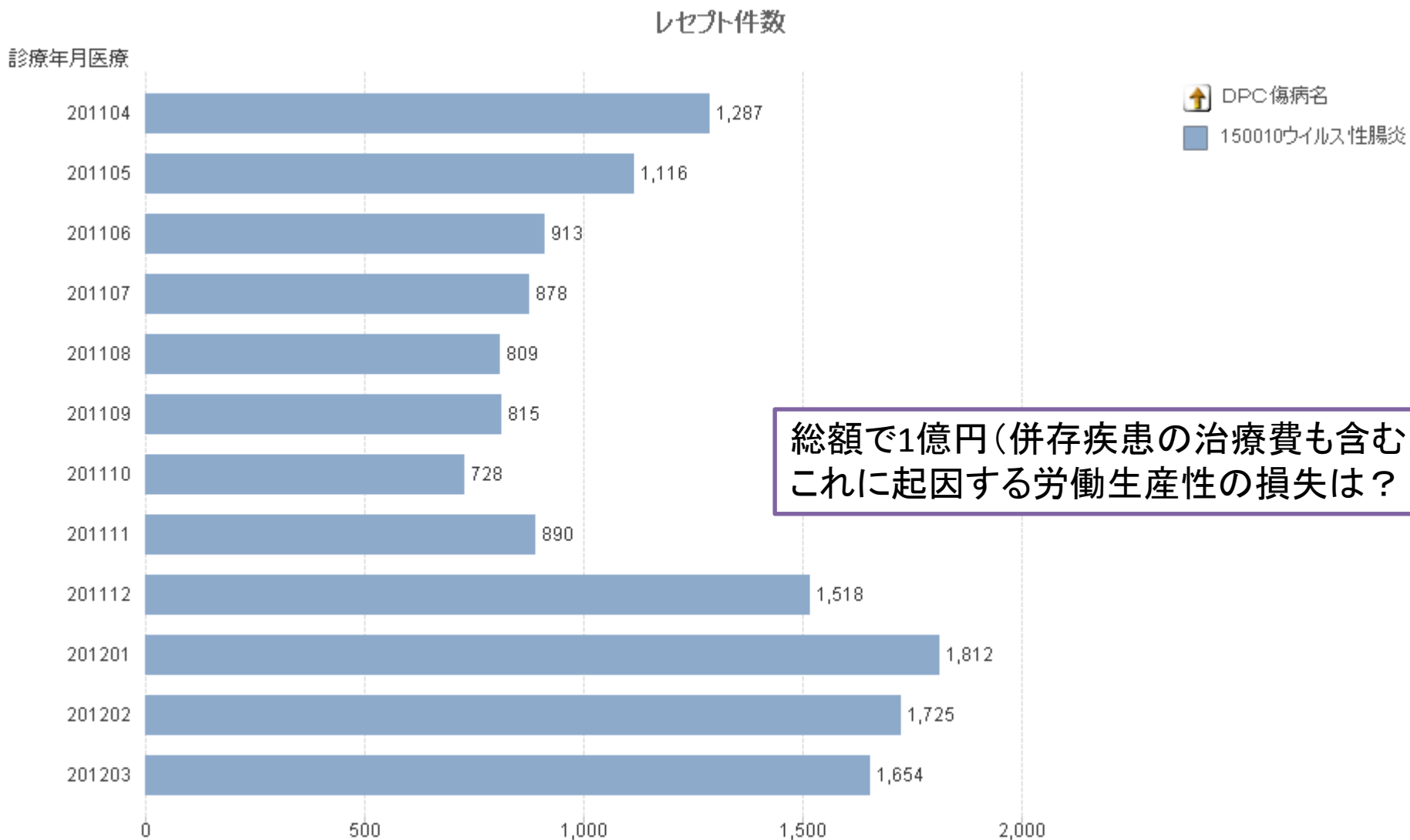


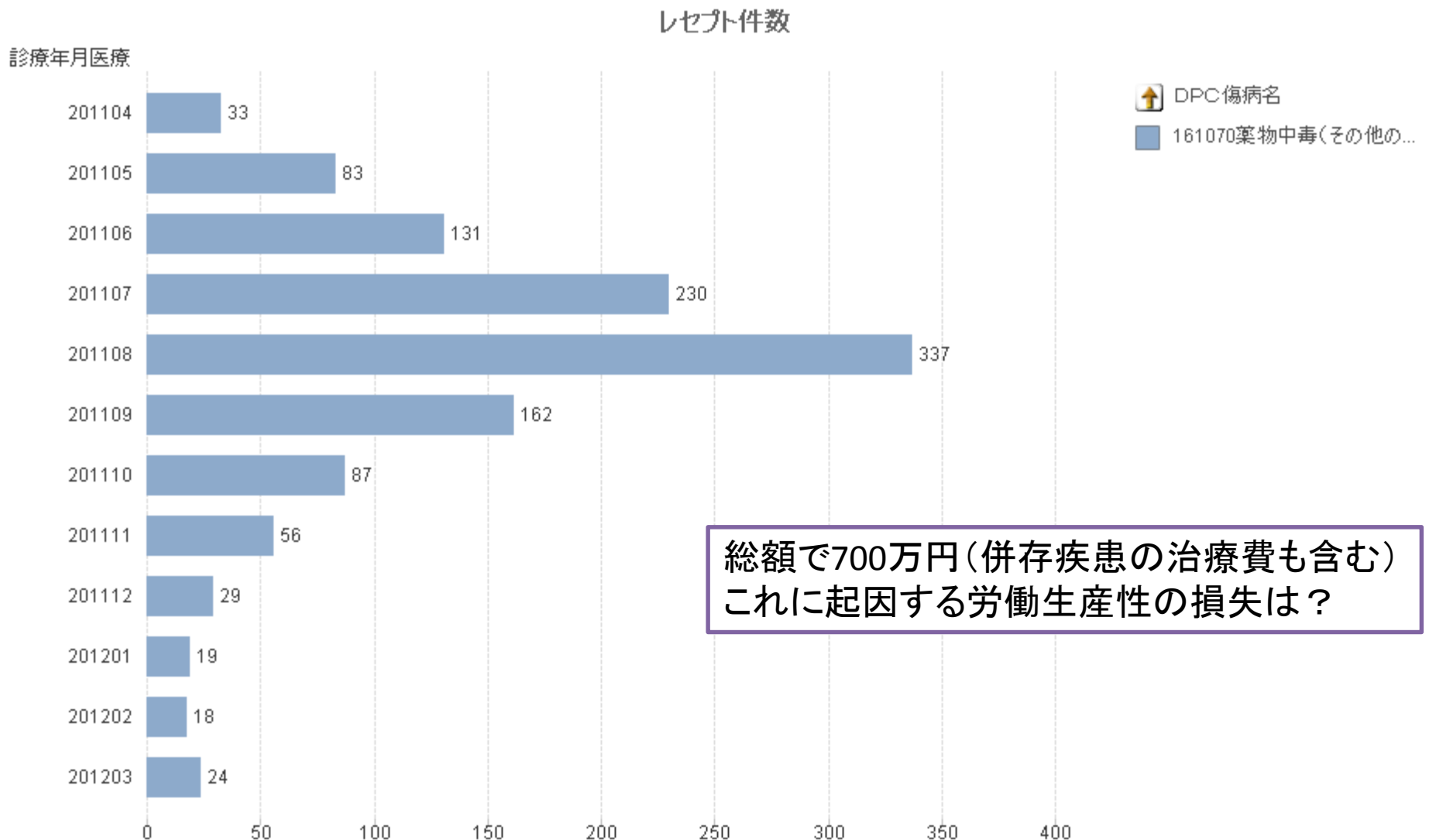
# アレルギー性鼻炎の外来レセプト数の季節変動 (20~59才)



# ウイルス性腸炎の外来レセプト数の季節変動 (20~59才)



# 薬物中毒の外来レセプト数の季節変動 (20~59才)

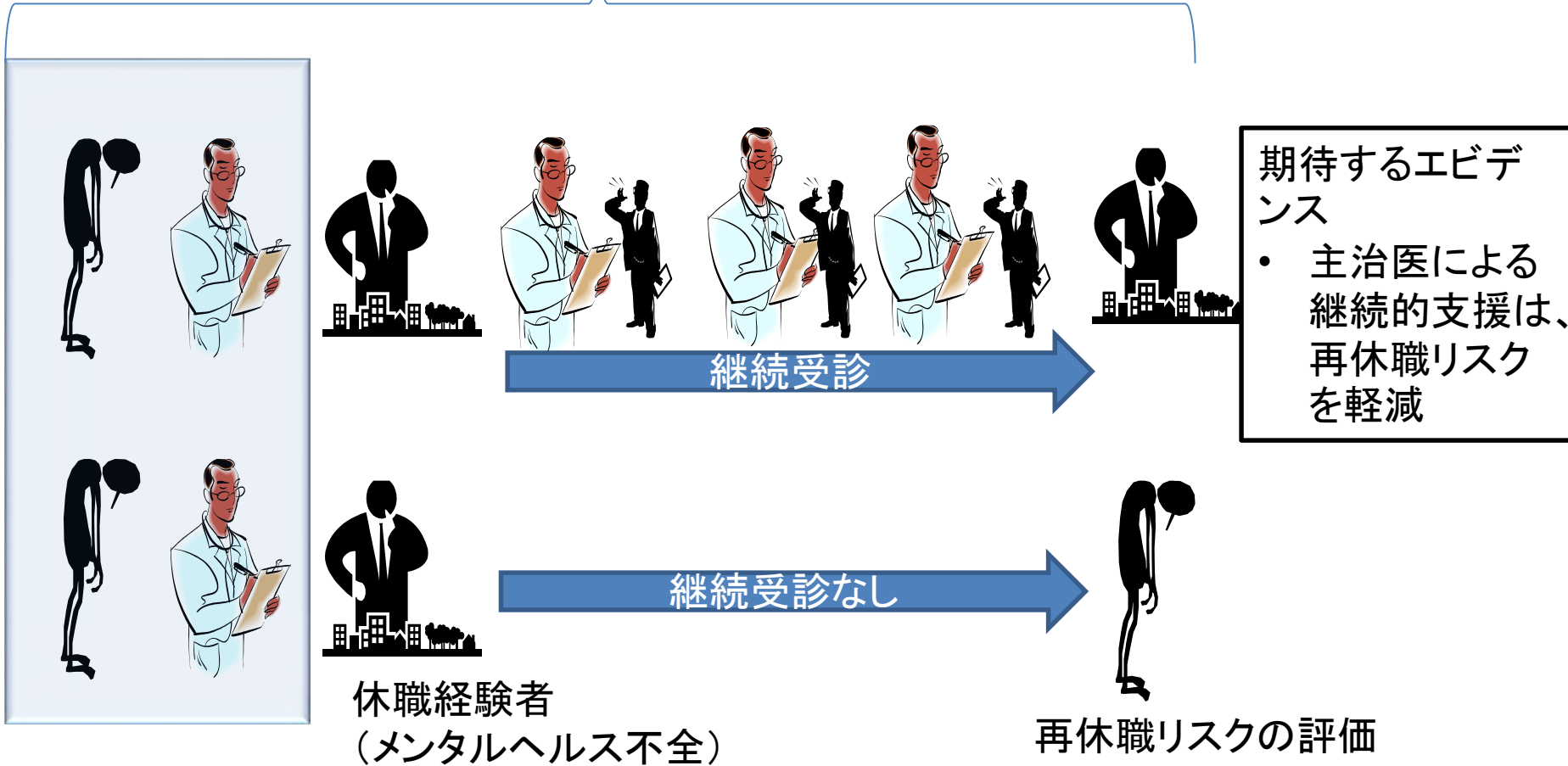


# 【研究課題】休職経験労働者における主治医による継続的診療と再休職リスクのレセプトデータを用いた検証



レセプトを用いての評価

- ・ 休職(疾病給付手当金)
- ・ 受診回数
- ・ 診療内容(投薬、カウンセリング)



# 精神科疾患の長期休職リスク

長期休職リスク	OR	95%CI		p
精神科療法	0.4	0.1	0.9	0.027
性別	1.6	0.9	2.8	0.116
年齢	1.0	1.0	1.0	0.160
入院	0.8	0.3	2.4	0.652
内服なし	2.6	1.1	6.3	0.035

内服なしの定義

薬効分類112 or 117の処方がないこと

112 催眠鎮静剤, 抗不安剤

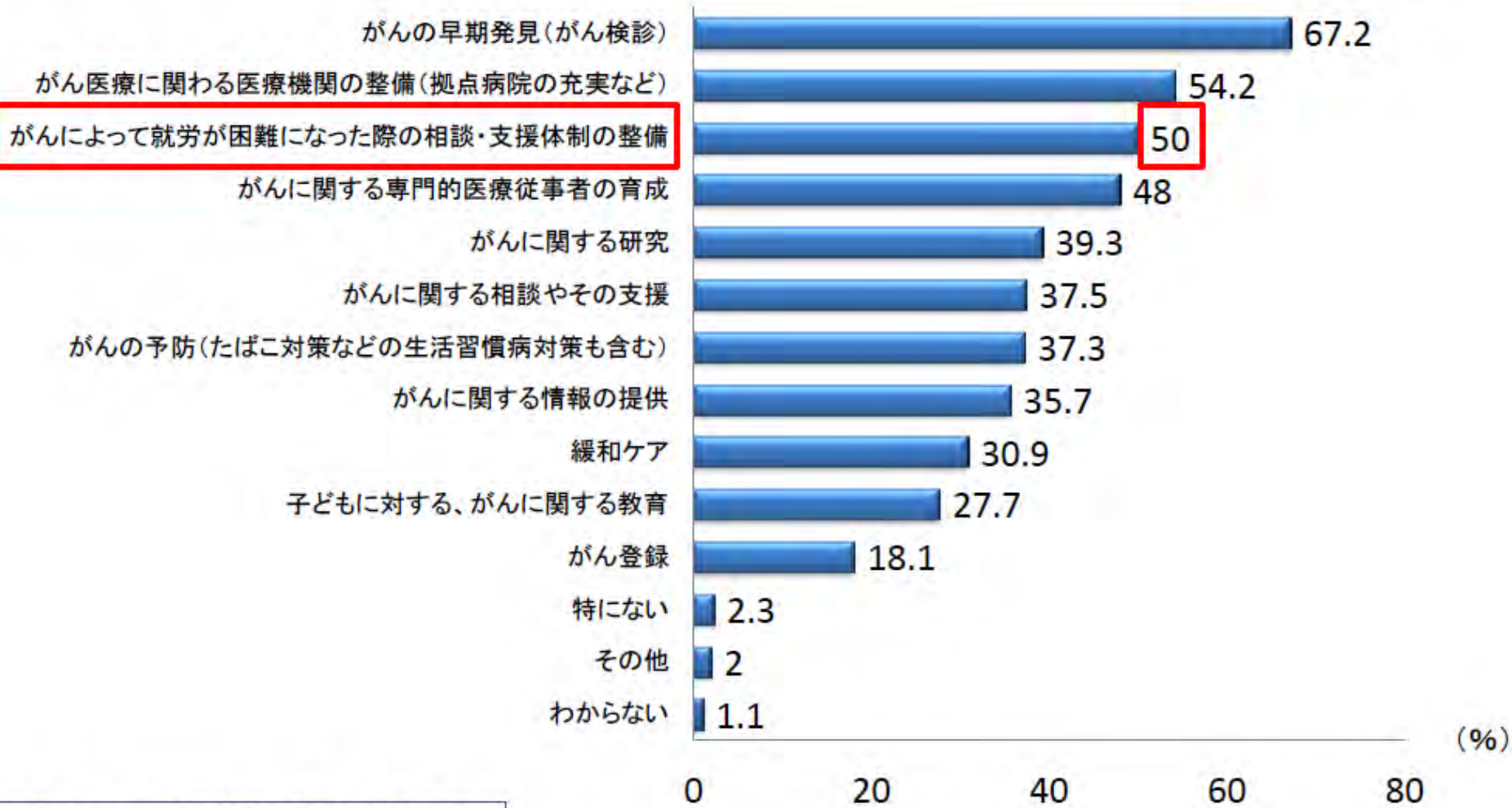
119 その他の中枢神経系用薬

精神科療法あり 0.4倍  
精神神経用剤投与なし 2.6倍

# がん対策に関する政府に対する要望（世論調査）

（がん対策について、政府としてどういったことに力をいれてほしいと思うかと質問）

【複数回答可】  
【n=1883】



出典:内閣府 がん対策に関する世論調査  
(平成25年1月調査)

# Comment préparer son retour au travail après un cancer

🏠 > ECONOMIE > EMPLOI Par  Edouard de Mareschal | Mis à jour le 04/07/2014 à 15:23 | Publié le 04/07/2014 à 14:19

L'AUTEUR ▾

SUR LE MÊME SUJET ▾

RÉAGIR (11) ▾

PARTAGER



IMPRIMER



フランスではがん患者の80%が、治療後復職している。  
がん患者に対する雇用差別は人権問題という認識。

# Curie 研究所の研究から

- がん患者が復職にあたって困難と感じることの第一は罹患前の業務量をこなせないこと（特に肉体労働者）
  - 記憶力の減退や集中力の低下
  - 痛み
  - 動作の制限
- 企業側の配慮不足（稼働能力の過大評価）
  - うつ状態や罪悪感の原因となる



# 産業医科大学病院版職場支援復帰に関する情報提供書 (産医大版Fit note)

今後、働くことを支援する  
医療の役割が重要になる

## 主治医記載欄

● 患者様の状況についてご記載ください。

年 齢 \_\_\_\_\_ 歳

性 別 \_\_\_\_\_  男 ・  女

診断名 \_\_\_\_\_

入院の有無 \_\_\_\_\_  有 ・  無

手術（血管カテーテルを含む）の有無 \_\_\_\_\_  有 ・  無

就業に関する主治医の意見 \_\_\_\_\_  概ね平常勤務可 ・  就業配慮が必要

↓

● 配慮が必要な場合の内容

労働時間に関する配慮 (残業時間の制限や、短縮勤務、リハビリ出社など)	<input type="checkbox"/> 概ね平常勤務可 ・ <input type="checkbox"/> 就業配慮が必要
夜勤・交代勤務に関する配慮	<input type="checkbox"/> 概ね平常勤務可 ・ <input type="checkbox"/> 就業配慮が必要
車両運転に関する配慮	<input type="checkbox"/> 概ね平常勤務可 ・ <input type="checkbox"/> 就業配慮が必要
危険作業（高所作業など）に関する配慮	<input type="checkbox"/> 概ね平常勤務可 ・ <input type="checkbox"/> 就業配慮が必要
業務内容、業務量、作業条件、 担当業務の変更などに関する配慮	<input type="checkbox"/> 概ね平常勤務可 ・ <input type="checkbox"/> 就業配慮が必要

● 具体的な指導内容があればご記載ください。

医師氏名 \_\_\_\_\_ 医療機関名 \_\_\_\_\_